

高齢者の居場所づくり事業(歌サロン)の概要

(平成30年度事業開始)

事業目的
外出する機会が少なく、自宅に閉じこもりがちな地域の高齢者に対し、楽しく集うことができ、見守りや健康づくりにもつながるサロン(地域交流の場)を、身近な場所に開設する。
事業概要
・毎月第3木曜日 午前10時～11時 ・神楽公民館「木楽輪」 ・ピアノ伴奏による歌唱や高齢者サービスに関する情報提供など (※神楽公民館との共催事業)

【開催実績】

(参加者数の単位:人)

年度	開催回数	一般参加者数	実行委員等参加者数	合計参加者数	平均参加者数
平成 30 年	5	154	52	206	30.8
令和 元 年	11	631	109	740	57.4
令和 2 年	10	206	79	285	20.6
令和 3 年	8	213	41	254	26.6
令和 4 年	12	282	120	402	23.5
令和 5 年	11	274	123	397	24.9
令和 6 年	12	408	117	525	34.0
令和 7 年	5	189	55	244	37.8

※R1～3年の開催数の減はコロナによる開催中止(令和5年5月8日から5類移行)

※「平均参加者数」は「一般参加者数」を「開催回数」で割り返した数値

【前年度会議での意見等】

- ・市の補助金が無くなるなど、有料化の必要がでてくれば、まち協の会議で検討するしかないと思う。高齢者の健康、見守り、市等の情報提供の場でもある、今後も続けたい。
- ・歌集は、無料配付をやめて料金を徴収してもよいと思うが、最初の参加時に1度だけのもので大半の参加者には既に配付済み。
- ・参加料を設定すると、参加を我慢し参加者が減ると思う、健康や見守りという側面があるので参加者が減ると本来の目的から外れてしまう。

【過去の会議での意見等】

- ・参加者から運営者を育成するなどし組織編成をする。
- ・参加料を徴収し、サークル運営へ移行する。
- ・実行委員を支援するメンバーを増やす。
- ・参加料を徴収し運営費に充てることで自主運営が可能。
- ・参加者から必要経費を徴収する。
- ・高齢化が進む中、高齢者が参加できる場所が必要、資金面については検討を要する。
- ・市民が必要としているので今後も継続していく必要がある。